

ユニオンファンド 月次レポート

第 130 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2019年9月5日作成

MONTHLY TOPIC

コムジェスト社の投資の観点と銘柄選定

「株価は本当に大丈夫なのか？」

ユニオンファンドは株式に投資するファンドを組み入れています。これは、①世界経済の成長はこれまでそうだったようにこれからも続く、②その成長に寄与し、あるいは成長から恩恵を受ける企業の利益も拡大が続く、③利益の拡大に伴って株価の上昇も続く、という考えが前提になっています。しかし、「景気が減速した後退さえ懸念されているというのに本当に大丈夫なのか」と不安を感じている方は、少なくないかもしれません。

今回は、コムジェスト社の担当者の方とのディスカッションや同社「Investment Letter 7月号」から得た情報の中から、重要と思われる点をいくつかご紹介します。なお、以下の個別銘柄は、その売買の勧誘・推奨をしているものではなく、あくまでコムジェスト社の銘柄選定の考え方の一例として挙げていますのでご留意ください。

欧州株への投資は、欧州への投資ではなく、世界で活躍する欧州企業への投資

コムジェスト EU F と同種のポートフォリオ（以下「欧州ポートフォリオ」）が投資した企業においては、「過去 10 年間の売上成長の 3 分の 1 をもたらしたのはアジアの顧客」であり、欧州の顧客は 22% に過ぎないそうです。重要なのは、国籍がどこかより、投資先企業が世界で稼ぐ力を持っているかどうかです。こうした投資方針が功を奏し、コムジェストの欧州ポートフォリオの投資先企業は市場全体を上回る利益成長を遂げ、それに伴って基準価額も市場平均を大きく上回ってきました。今後は、例えば中国のヘルスケア需要の拡大に一層注目する考えです。Novo Nordisk というデンマーク企業が既にファンドの組入上位に名を連ねていますが、同社は中国で拡大しつつある糖尿病の治療薬で世界トップシェアを握っています。

中国でも成長分野はまだ多い

その中国については、「短期的な変動の真っ直中」にあり、「国内総生産（GDP）に目を奪われがち」だが、「所得水準が今後も上がり続けるならば、短期的な景気減速がそれほど重要なことでしょうか」と問います。一例として挙げているのは Ping An という中国の保険会社で、コムジェスト EM F の組入トップです。重症疾患向け保険市場は 2014~18 年に年率 41% という急成長を遂げるなど、民間の健康保険市場の先行きは明るく、この業界のリーダーでもある同社の成長性には大いに期待できると判断しているわけです。

世界の投資家は今後も短期の売買を繰り返すでしょう。コムジェストのファンドといえども株価変動には巻き込まれます。しかし、中長期の成長産業・成長企業に投資している限り、決して恐れることはないと考えます。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2019年8月末現在)

基準価額

22,141 円

純資産総額

63 億 76 百万円

期間別騰落率(%)

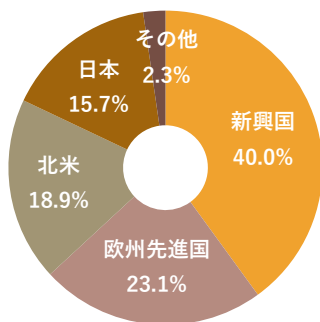
1 ヶ月	-6.83%
1 年	-9.93%
3 年	12.45%
5 年	10.27%
10 年	74.67%
設定来	121.41%

複利年率(%)

7.59%

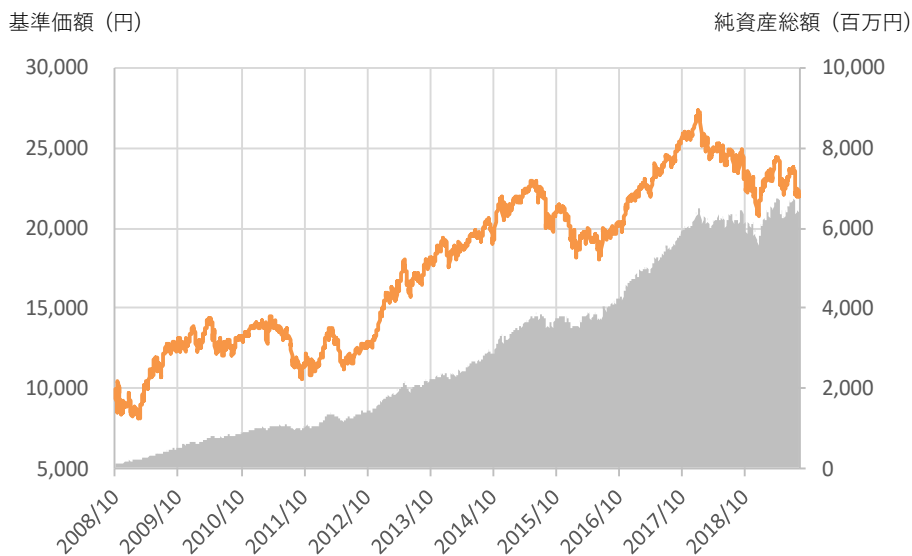
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2019年7月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.8%	-7.3%
スパークス F	日本	7.1%	-5.5%
キャピタル F	欧米	13.5%	-4.4%
ハリス F	欧米	17.7%	-9.2%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	6.0%	-4.5%
コムジェスト・エマージング F	新興国	33.6%	-9.7%
現金等	-	16.1%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2019年8月の市場動向と運用状況

投資環境と基準価額の推移

6~7月の回復歩調から一転して8月の株式市場は序盤で大きく下落し、その後も総じて軟調に推移しました。米国政府が、これまで関税引き上げを見送ってきた中国製品についても追加関税を課すと発表したのをきっかけに、米中対立激化の不安が再び高まったことが反落の主な要因です。直前まで両国間の協議が進展しているとの楽観ムードが広がっていましたので、その反動が出た格好となりました。

順番は前後しますが、米国の金融政策についても投資家の過大な期待が裏切られ、株価下落の一因となりました。7月末の会議で利下げが決定されはしましたが、金融当局が今後も継続して利下げを進める方針では必ずしもないことが判明し、失望感が広がったものです。

さらに、米国では長短金利の逆転も悪材料視されました。長短金利の逆転とは、長期金利が短期金利を下回る異例の現象のことで、過去にはしばしばその後の景気後退のサインとなってきました。このため、投資家は景気後退が近いとの警戒感を強めました。

為替市場では円が独歩高となりました。内外の政治・経済情勢の不安定化を受けて、円を買い戻す動きが強まったことが主因です。ブラジル、メキシコ、ロシアといった新興国の通貨の下落が目立ちました。

ユニオンファンドは、世界的な株価の反落により組入ファンドがすべて下落したため、大きく値下がりしました。

運用の状況

昨年9月末以降、買い付けを見送ってきましたが、8月はスパークスFの買い増しを行いました。ただ、組入ファンドの値下がりにより月末の組入比率は前月末から低下し、83.9%でした。

今後の見通しと運用方針

金融緩和期待と景気の減速・後退懸念という二つの好悪材料のせめぎ合いがしばらく続き、株価がフラフラする状態はしばらく続く可能性が高そうです。各国中央銀行による金融緩和の方向がよりクリアになれば、その先の景気回復を期待して投資家は株式購入を増やすでしょう。しかし、足元で景気指標の悪化が続く限り、投資家は積極的になり切れませんし、米中対立が改善するめどが立たない間は本格的な株式投資再開は難しいと見ています。

とはいえ、こうしたフラフラ状態こそ、次に続く上昇相場の起点になることが少なくありません。株価が上がっても慌てず、下がっても怖がらず、あくまでも丹念に投資を続けることが肝心だと思っています。

先月は久々に日本株ファンドの買い付けを行いました。今月以降は、軟調な場面で海外株ファンドにも投資を広げていく考えです。

運用責任者 久保田徹郎

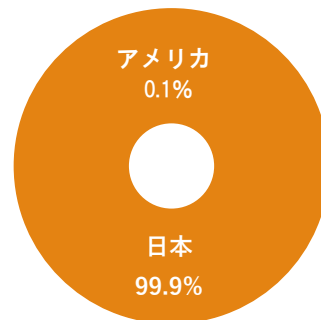
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



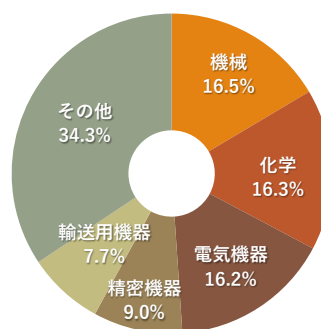
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.2%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 プリヂェストン	4.4%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
3 花王	4.2%	日本	化学	トイレット-首位
4 ダイキン工業	4.0%	日本	機械	エアコン世界首位
5 テルモ	3.3%	日本	精密機器	医療機器 (カーテル)
6 信越化学工業	3.3%	日本	化学	塩ビ・シリコンエポ-世界大手
7 浜松ホトニクス	3.0%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 トヨタ自動車	2.9%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
9 TOTO	2.8%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
10 国際石油開発帝石	2.5%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
上位10銘柄	35.5%		現金等	9.2%

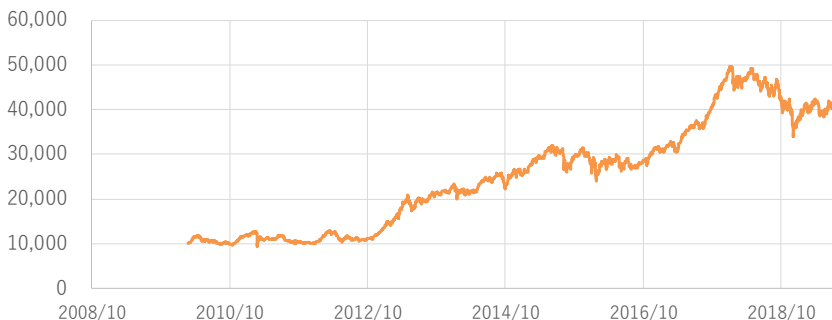
業種別構成比



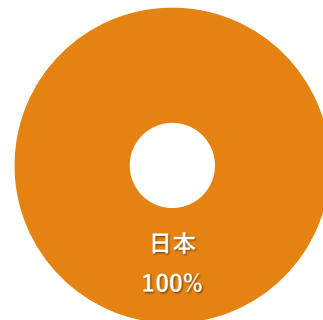
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年8月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



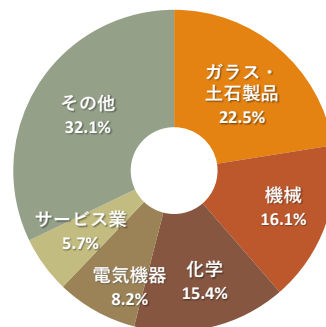
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボ-イ-大手
オルガノ		日本	機械	水処理装置大手
ベйкаレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレ-など容器の大手
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等			現金等	5.0%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年7月末現在>

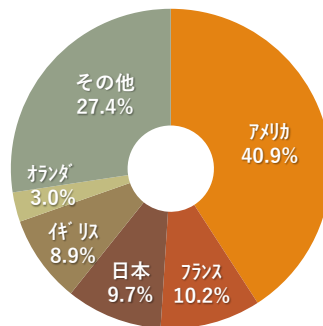
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



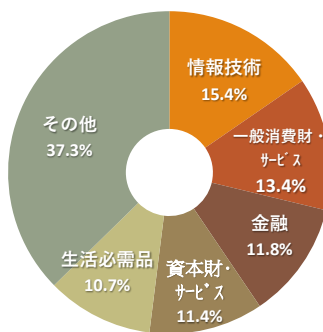
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Enel	2.0%	イタリア	公益	国内最大の電力会社
2 Alphabet	1.9%	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの持ち株会社
3 Airbus	1.8%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
4 Ocado	1.7%	イギリス	一般消費財・サービス	世界最大級のオンライン・スーパー
5 AIA	1.6%	香港	金融	生保・金融サービス
6 Pernod Ricard	1.6%	フランス	生活必需品	アルコール飲料、食品
7 Microsoft	1.6%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
8 ASML	1.6%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
9 Visa	1.5%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
10 Iberdrola	1.3%	スペイン	公益	大手電力会社
上位10銘柄	16.6%		現金等	6.5%

業種別構成比



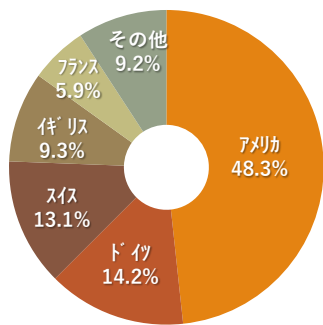
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年7月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



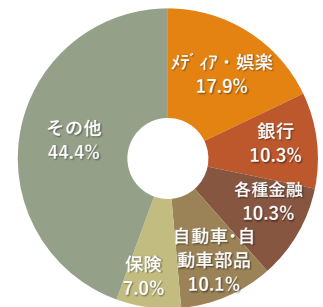
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	4.9%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 DAIMLER	4.6%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
3 GLENCORE	4.6%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
4 CREDIT SUISSE	4.5%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
5 BAYER	4.3%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
6 ALPHABET	4.3%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持ち株会社
7 CNH INDUSTRIAL	4.1%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
8 HILTON WORLDWIDE	3.6%	アメリカ	消費者サービス	世界有数のホテルチェーン
9 CHARTER COMMUNICATIONS	3.5%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
10 JULIUS BAER	3.3%	スイス	各種金融	プライベートバンク
上位10銘柄	41.8%		現金等	3.4%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年7月末現在>

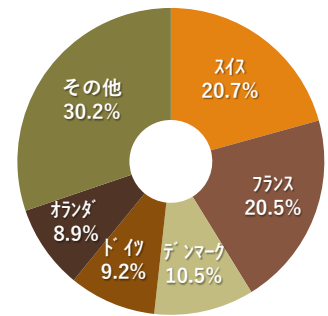
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



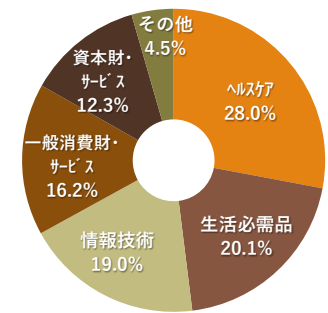
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ESSLORLUXOTTICA	5.3%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
2 ROCHE HD	4.3%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
3 INDITEX	4.0%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
4 HEINEKEN	3.9%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
5 NOVO NORDISK	3.9%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
6 ASML HD	3.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
7 STRAUMANN HD	3.7%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
8 AMADEUS	3.7%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
9 SAP	3.4%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
10 LINDT & SPRUENGLI	3.3%	スイス	生活必需品	チョコレートなどの食品・飲料
上位10銘柄	39.3%	現金等	8.3%	

業種別構成比(マザーファンド)



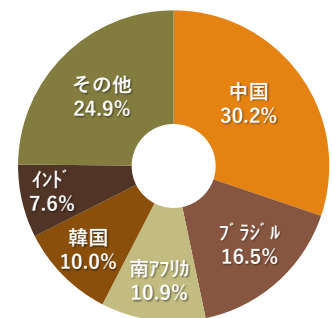
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年8月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



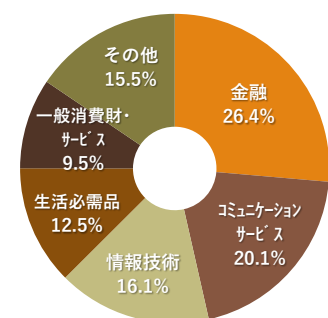
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 PING AN INSURANCE	6.9%	中国	金融	保険大手
2 BB SEGURIDADE	3.8%	ブラジル	金融	保険大手
3 TSMC ADR	3.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
4 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.7%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
5 SAMSUNG ELECTRONICS	3.6%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
6 POWER GRID OF INDIA	3.6%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
7 INNER MONGOLIA YILI	3.5%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
8 AIA	3.5%	香港	金融	生保・金融サービス
9 FOMENTO ECONOMICO	3.3%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニエンス
10 HANGZHOU HIKVISION	3.3%	中国	情報技術	ビデオ監視機器世界大手
上位10銘柄	38.8%	現金等	1.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年8月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

ご登録情報・ご契約内容の変更手続きについて

弊社へご登録いただいているご住所、お名前等の登録情報、毎月積み立て「定期定額購入サービス」の購入金額や引落金融機関口座等の契約内容の変更につきましては、書面によりお届けいただいております。

各届出用紙につきましては、**弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話** または **弊社ホームページの「取引口座関連（各種変更手続き）」** よりご請求ください。

≪弊社ホームページからの変更用紙請求手順≫

「取引口座関連」>「登録情報変更用紙請求/メールアドレス・月次レポート受取方法変更」ページ

<https://unionam.co.jp/change-procedure/index.html>

- ① [入力フォーム]お客様の情報 をご入力（お客様コードについては下記をご確認ください）
- ② [入力フォーム]登録情報変更用紙の請求 にて必要書類の部数・用紙送付先情報をご入力
- ③ 入力内容をご確認の上「送信」ボタン

※ 定期定額購入サービスは購入スケジュールに沿って手続きを行いますので、お申込みの時期によってはご契約内容が反映されるまでにお時間がかかる場合がございます。何卒ご了承ください。

※ 上記以外の登録情報などに関すること（特定口座、マイナンバー、お届け印など）でお困りのことがございましたら、お電話または弊社HPより弊社までお問い合わせください。

お客様コード（口座番号）について

「お客様コード（口座番号）」とは、弊社に口座をお持ちのお客様がお取引等いただく際に、お客様を特定させていただくための番号です。

口座開設された際に弊社より郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご確認いただけます。

また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着ハガキ）のお開きいただいた左上にも「口座番号」として「お客様コード」を記載しておりますので、こちらでもご確認いただけます。

※ 各種報告書や月次レポート郵送時の宛名の下に印字されている記号や番号は、お客様コードではありません。

※ 「お客様コード（口座番号）」がご不明な場合には、「お客さま控え」を再発行しお送りいたしますので、ご希望の際は弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までご連絡ください。（メールやお電話ではお答えしていません。）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.864%（消費税率が 10%となった場合 年 0.88%/税抜 年 0.8%）の率を乗じて得た額です。
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。

[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]

*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。

※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

セミナーのお知らせ

生涯資産づくりセミナーin 福岡のご案内

日時	2019年10月12日(土) 14:00~17:00 (受付開始 13:30) 終了後、簡単な懇親会(～18:30)を予定しています。ご希望の方は是非ご参加ください。
会場	「博多バスターミナル 貸ホール」 第12ホール 福岡県福岡市博多区博多駅中央街2-1
定員	40名(お申込み順)
参加費用	無料(懇親会参加の方は500円)
申込方法	弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までお電話いただくか、弊社ホームページの「資料請求・問い合わせ」ページよりお申し込みください。(申込締切日:10月9日) https://unionam.co.jp/contact/index.html ◀弊社HP「資料請求・問い合わせ」ページからのお申し込み方法▶ ①ご依頼内容「お問い合わせ」にチェックしてください。 ②お名前、ご住所、連絡先(電話番号・メールアドレス)をご入力ください。 ③お問い合わせ内容欄に「 10/12 参加申込み ○名(参加人数)」をご入力ください。 ※懇親会にご参加される場合は、加えて「 懇親会参加 」をご入力ください。
交通	JR博多駅(博多口)から徒歩1分 ※駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。  地図

このセミナーは、投資信託その他金融商品の勧誘を目的とするものではありませんが、これらについての具体的な説明を行い、その取引を誘引することがあります。／金融商品等への投資は、その価格の変動等により損失を生じることがあります。／金融商品等ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。